

8月4日(土)



▲清掃作業に汗を流す参加者
浜っ子魂とデザインされた▶
Tシャツ



「みんなでやっぺ!!^{ろっこ} きれいな6国」

新地町から広野町までの6号国道で清掃ボランティアが展開されました。浜通り地方をより生き活きとした町にするため相双地区の高校生が企画し、参加者全員同じ時間に同じTシャツを着て活動しました。広野町の区間は桜田交差点付近から広洋台付近。開会式では、キャッチコピーを考えた根本恵理(広野中)さんが表彰されました。

広野町からは広野中学校の生徒や各種団体、計80人が参加し、約1時間程度清掃に励んでいました。

8月5日~7日



▲日本一を目指し白熱した
試合が繰り広げられた
全国各地の▶
ナンバーの車が並ぶ
二ツ沼総合公園駐車場



第31回全日本少年サッカー 大会開催(小学生全国大会)

都道府県大会を勝ち進んだ各代表47チームと前年度優勝チーム枠(第30回優勝チームは神奈川県)1チームの48チームがJヴィレッジで熱戦を繰り広げました。8月5日~7日までを6チームずつA~Hまでの8グループに分けリーグ戦、8日は決勝トーナメント1回戦と準々決勝が行われました。(準決勝と決勝は東京西が丘サッカー場が会場)優勝はヴェルディ(東京都)でした。この大会はサッカー少年があこがれる大会。数多くのJリーガーや日本代表選手がこの大会を経験しています。

選手を応援するために保護者の方々も全国各地からJヴィレッジを訪れました。シャトルバス発着場所となった二ツ沼総合公園駐車場は全国各地のナンバーの車が目立ちました。

8月1日~31日



▲除草作業に取り組む広野町建設業組合員

8月1日~31日 「道路ふれあい月間」

8月10日の道の日になみ、広野町建設業組合の奉仕活動による道路沿いの除草作業が県道広野・小高線(浜街道)で行われました。

町内業者9社が参加。この日は午前8時に役場に集合して出発式を行い、広野町建設業組合 鈴木崇広組合長が「交通事故に気をつけて作業にあたってください」とあいさつしました。その後参加者がそれぞれの担当区間に向かい除草作業に汗を流しました。

7月14日(土)



▲ゴールを守る広野FC

得点に歓喜の輪ができる▶



第11回ふたばカップジュニアサッカーフェスティバル開催

第11回ふたばカップジュニアサッカーフェスティバルがJヴィレッジを会場に開催されました。東北・関東地方を含め80チーム、広野町からは広野FC（広野フットボールクラブ）が参加しました。

台風14号の影響により残念ながら大会1日みの開催となってしまいましたが、雨が降る中、選手は一生懸命ボールを追いかけていました。広野FCは、あぶくまFC2005（福島県）に4対0の勝利、緑岡サッカースポーツ少年団（茨城県）に0対0の引き分けという成績でした。

7月12日(木)



▲受賞者の皆さん

左から横山さん、吉田さん、坂本さん、松本さん、高木さん、石田さん

作品

- 犯罪は「一回だけなら」じゃ許されない
- 一日の出来事話す 食事時 食卓の上に 笑顔が集う
- 開こうよ あいさつと優しい心で 未来の扉を
- あたたかい 家族の会話が 非行を防ぐ 近道だ
- みんなで作ろう 会話と笑顔のあふれる 広野町
- 近所での 言葉のかけあい 大切に

標語コンクール優秀作品表彰式～社会を明るくする運動～

法務省主唱の“社会を明るくする運動”はすべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。運動の一環で標語コンクール優秀作品の表彰式が役場町長室で行われ、受賞者一人ひとりに賞状が町長より手渡されました。

優秀作品は以下のとおりです

広野中2年	よこやま 横山	だいすけ 大輔さん
広野中1年	よしだ 吉田	けんご 健悟さん
広野中1年	さかもと 坂本	あやめ 蒼さん
広野中2年	まつもと 松本	かな 華那さん
広野中2年	たかぎ 高木	みお 美緒さん
広野中2年	いしだ 石田	いくみ 郁巳さん

7月24日(火)



▲説明を聞きメモを取る児童

原子力関連施設見学会～東海テラパーク(東海原子力館)～

広野小5・6年生を対象に原子力・エネルギーなどについて理解を深めるため原子力施設見学会が開催されました。(参加者数81名)見学した施設は茨城県東海村にある東海テラパーク(日本初の商業用原子力発電をした東海発電所構内にある展示館)です。

児童たちは原子力発電のしくみ、安全性などについて説明を受け、バスで発電所内を見学しました。職員の説明に耳をかたむけ熱心にメモをとっていました。